

私たちだって、仲間になりたい！



アジア太平洋障害者の「権利を実現する」インチョン戦略
わかりやすい版

ESCAP とは、何ですか？

アジア太平洋経済社会委員会（ESCAP）は、アジア太平洋地域の国際連合の組織です。ESCAP は、みんながお金に困らずに、社会の一員として、今までよりもよい生活を送れる日が早く来るように、活動しています。



ESCAP は、これまで 3 回の「アジア太平洋障害者の 10 年」に取り組み、障害のある人を支援してきました。

第1回目の「10年」は、1993年から2002年まででした。

第2回目の「10年」は、2003年から2012年まででした。

今、ESCAPは、2013年から2022年までの、第3回目の「10年」に取り組んでいます。

「アジア太平洋障害者の10年」では、いつも、障害のある人の権利が本当に認められるように、社会をバリアフリーにすることをめざしています。



インチョン戦略は、第3回目の「10年」の行動計画です。

「インチョン戦略」という名前は、「10年」の行動計画が決められた場所の名前をとって、つけられました。



2012年11月に、アジア太平洋地域のいろいろな国の政府と障害のある人たちが、大韓民国のインチョンに集まり、インチョン戦略を決めたのです。

インチョン戦略とは、何ですか？

インチョン戦略には、10の目標があります。これらの目標に向けて、やらなければならないことが27、また、その進み具合を知るための目印が62あります。この冊子では、これらのやらなければならないことと目印について説明します。

私たちは、みんなのためにバリアフリーな社会が必要だということを知っています。けれども、それに向けて前進しているかどうかは、どうしたらわかるでしょうか？ インチョン戦略は、すばらしい戦略です。それは、私たちがほかに何をしなければならないかがわかるように、あらゆる障害のある人についてのデータを集めることを、政府に求めています。





インチョン戦略で大切に されている考え

障害のある人は：

- 大事にされなければなりません。
- いろいろなことを自分で選べなければなりません。
- 差別されてはなりません。
- ほかのみんなと同じように、社会に参加できなければなりません。

障害があっても大丈夫！



障害のある人は：

- 学校に通ったり、仕事を持ったり、投票したり、選挙で選ばれたり、買い物に行ったり、ほかのみんながやっていることを何でもすることができる、平等な機会を持たなければなりません。

- 簡単に情報を手に入れられなければなりません。
- いろいろな場所に行くために、みんなが使う乗り物を使えなければなりません。





- 障害のある男の人と障害のある女の方は、平等に扱われなければなりません。



- 障害のある子どもは、ほかのすべての子どもと同じように、大事にされなければ

预览已结束，完整报告链接和二维码如下：

https://www.yunbaogao.cn/report/index/report?reportId=5_3640

